

2023_0713「北極圏の美しい積雲列（動画）」日々の理科 3263号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

夏の晴れた日、午前中から積雲が見られます。地上付近で発生した水蒸気を多く含んだサーマル（熱気泡）が、上空で露点（飽和水蒸気が相転移する温度）に達し、ほぼ同じ高度で積雲になります。積雲の底面が平らなことが多いのはそのためです。積雲は垂直方向に発達し、塔状雄大積雲、雄大積雲（入道雲）と発達し、最終的には積乱雲（雷雲）にまで発達することもあります。

しかし気温も湿度も低いスウェーデン北極圏では、雄大積雲や積乱雲にまで発達することは稀で、一日中美しい積雲列が見られることが多いです。この日も午前中に発生した積雲列が、南から北に流れ続ける様子が見られました。

カメラを設置しているのはスウェーデン内陸鉄道（インランズバーナン）のポルユス駅の駅舎です。今の時期一日一往復だけ列車が来ます。動画にも午前8時27分頃、北から南に向けて走る列車（気動車）が映っています。

(2023年7月中旬/スウェーデン・ヨックモック郡ポルユス)

